

改めて災害の備えをお願いします

昨年1月1日午後4時10分、石川県能登地方を震源とする能登半島地震が発生し、最大震度7の揺れが周辺地域を襲いました。今後、このような大地震がいつまた起こるか分かりません。いざというとき、どこにいても慌てず、適切な行動がとれるよう、対策を考えておくことが大切です。

災害からあなたと家族を守る

命のパスポート

シリーズ168

発災時間とそのときにいる場所で あなたのとるべき行動が変わります

昼に地震が起きたら… 東日本大震災は午後2時46分に発生

- 家族がそれぞれ別の場所にいる
- 公共交通機関が止まって帰宅困難者が出る
- 炊事の時間帯には火災が多くなる
- 地域に人手が少ない

夜に地震が起きたら… 阪神・淡路大震災は午前5時46分に発生

- 多くの人々が家にいる
- 寝ていて倒壊家屋や家具の下敷きになる被害が多く出る
- 灯りの確保がすぐに必要になる
- 灯りがなく救助活動が遅れる

こんなとき、地震が起きたら… (働いているかたの場合)

06:00	起床	
	朝食	火は止めた!次に何をしたらいい!?
09:00	子どもの見送り	保育所への道中…引き返す?連れていく?
	出勤	
	外回り	電車が急停止!車内にもけが人が!
12:00	ランチ	お店で火災!どこに逃げる?
15:00	店頭で接客	地震でお客様がパニック状態に!どう誘導したらいい?
18:00	子どものお迎え	電車が止まって帰宅できない!子どもが心配…
	帰宅	
	夕食	電気が消えて真っ暗!懐中電灯はどこだった?
21:00	就寝	

いざというとき、何が起こり、何が必要になるかを考えて、日頃から準備をしておいてください。

例えば 「発災直後は外部支援が届かない」 ⇒ 「3日分の水・食糧」を備蓄する
「停電や断水が起こる」 ⇒ 必要なものを詰めた「非常用持ち出し袋」を用意する など

詳しくはこちら! ➡

